

広報委員
が行く！

市職員インタビュー Vol.16

情報推進課に聞いてみた

4月1日の組織編成により、情報推進課の中に「IT・市民サービス推進室」が入るとともに、「デジタル政策係」と「情報システム係」が新設されました。

今回は新体制となった情報推進課にインタビューを行いました。

——組織変更を行った目的は？

日本は、少子高齢化が進んでおり、今後、全国的に労働力不足が進んでいくと予想されています。このため、市などの自治体においても、少ない職員数で、行政サービスを提供している体制をつくる必要があることから、「自治体DX」を進める必要があると言われていきます。この「自治体DX」とは、AIやシステムなどのデジタル技術を用いて、業務の改革を図り、行政の効率化を進めていく取組を指します。

今回の組織変更は、市の情報関連の部署を再編成し、草加市が「自治体DX」を確実に進めて行くための体制を整えたものです。「自治体DX」は、情報推進課だけでなく、市の全ての組織で、それぞれができる改革に取り組んでいくものですが、その推進役となるのが、当課の「デジタル政策係」で、デジタル化に向けた計画立案のほか、業務システムや電子申請システム、AIツールなどの管理と高度化を担います。

「自治体DX」を進めることで、情報量の増大とともに、より高いセキュリティの確保が求められるようになりますので、情報ネットワークなどの情報システム基盤のアップデートと安定的な運用が重要となります。この部分の管理は「情報システム係」が担います。そして、情報推進課として、独自の「自治体DXに」取り組んでいくため、挑戦的な取組を進めていくのが「IT・市民サービス推進室」となります。

——主な業務内容は？

業務の中心は、市役所で使用しているシステムやパソコンなどを、安定的に利用できるようにすることなので、市民の皆様と直接の関わりを持つことはありませんが、もし、窓口のシステムが止まってしまうと、サービスも止まり、市民の皆様に大きな影響を及ぼしてしまいます。そうならないよう、朝や夜、日曜日も、交代で勤務するなど、日々、大きな責任を感じながら、業務に当たっています。



インタビューに応じてくださった情報推進課の皆さん

——市民に向けてメッセージをお願いします。

パソコンやインターネットが一般的になってから、市の業務のシステム化は急速に進みましたが、行政サービスのシステム化やデジタル化については、ようやく進み始めたところです。

本市の最近の取組としては、検診や講習の申し込みなどが、電子申請でスマートフォンなどからできるようになってきています。

また、マイナンバーカードを使い、コンビニで住民票などを

取得できる「コンビニ交付」の料金を窓口より安い100円とし、利用を促進しています。

なお、建設中の新庁舎の窓口は、「そうかスマート窓口」と銘打ち、デジタル技術を利用することで、利用者に、分かりやすく、負担の少ない窓口にしようと、各窓口の職員が集まり検討を進めていますので、御期待いただければと思います。

御協力いただきました職員の皆さんありがとうございました。

表紙の題字を書いた草加っ子



瀬崎中学校 3年生
藤平 優安さん

小学3年生から習字を習い始め、普段から美しい字を書くことを心がけてきました。本紙の題字も今までの想いを込めて書きました。自分の夢や目標に向かって、中学校最後の1年を大切に過ごしていきたいと思います。

令和4年6月定例会の会期日程(案)は次のとおりとなります。

月	火	水	木	金	土	日
5/30	31	6/1	2	3	4	5
	開会	議案調査日	議案質疑	一般質問		
6	7	8	9	10	11	12
	一般質問		常任委員会			
13	14	15	16	17	18	19
休会	閉会					

《編集後記》

2月定例会は、令和4年度の予算審議が行われました。予算は、新型コロナウイルス感染症対策等による財政需要の増大や新庁舎の建て替え、区画整理事業の推進などにより過去最大の予算規模です。主な事業内容を掲載しましたので、ご覧いただきたいと思います。

議会広報委員会委員 石田恵子

発行 草加市議会
編集 議会広報委員会
草加市高砂1-1-1
TEL 048(922)2489直通
FAX 048(922)3154直通



草加市議会
ホームページは
こちらから

<http://www.soka-shigikai.jp>